

編 集 後 記

この雑誌も11号。10年前みんなで会費を出し合って創った研究の場である。大学発展の力の一つがここにあることは間違いない。

英文科今年度の行事としては、10月にロンドン・ステージ・カンパニーの再来演を求めて「十二夜」を楽しんだ。「感性と論理による構築物」、「非常な贅沢」で、しかし「絶対に必要なもの」、「テレビからは生まれえないもの」観劇の後に聞えてきた言葉は意義深い。11月にはKirwan氏の‘Why Study Literature’と題する就任講演があった。文学作品を味読することを今の、目の前の社会から another world へ出掛けてみることだと誘う言葉は学生たちをも励ましたと思う。(K.H.)

親和女子大学英語英文学（第11号）

平成3年12月20日発行

編集・発行 親和女子大学英語英文学会

代 表 者 松 田 誠 思

発 行 所 〒65111 神戸市北区鈴蘭台北町7丁目13番1号

親和女子大学英語英文学会

電話 078-591-1651（内線30）

印 刷 所 〒657 神戸市灘区灘北通2丁目18番地

株式会社 柴 原 出 版

電話 078-871-4259
